



新国立劇場



新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ

R.シュトラウス

サロメ

Salome

2020 年 5 月 17 日(日)~26 日(火)

会場:新国立劇場オペラパレス 好評発売中



2016 年公演より

妖艶に舞った少女サロメが求めたものは…官能と倒錯の衝撃作！

オスカー・ワイルドの耽美的、頹廢的な戯曲を、リヒャルト・シュトラウスが極彩色の音楽でオペラ化したスキャンダラスな傑作。豊麗甘美な旋律と大胆な不協和音が凝縮され、緊張感に満ちた濃密なドラマには息をつく暇もないほど。クライマックスの「7つのヴェールの踊り」は、サロメが身にまとったヴェールを1枚1枚剥ぎ取りながら妖艶な踊りを披露する、官能美と緊迫感に満ちた見せ場です。新国立劇場の『サロメ』はミュンヘンのバイエルン州立歌劇場で上演されてきた故エファアーディングの名舞台で、舞台中央に巨大な古井戸を据えた迫力と妖しさ漂う秀作です。

抜きんでた表現力のペンダ、トマソン、ストーレイら世界の实力派が勢揃い

注目のサロメには、バロックからヴェルディ、ヴェリズモ・オペラで活躍、抜きんでた表現力で世界中の観客を圧倒しているアレックス・ペンダ。ドイツ・オペラで活躍するトマス・トマソン、ヘルデン・テノールのベテラン、イアン・ストーレイと実力派が勢揃い。指揮はリヒャルト・シュトラウスを特に得意とするコンスタンティン・トリックスが当たります。

＜資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ＞

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

妖艶に舞った少女サロメが求めたものは…官能と倒錯の衝撃作！

世紀末文学を代表する作家オスカー・ワイルドの代表作にして、耽美的、頹廢的な戯曲を、世紀転換期に君臨した作曲家リヒャルト・シュトラウスが極彩色の音楽でオペラ化したスキャンダラスな傑作『サロメ』。その背徳的な内容と衝撃に、ウィーンでは上演禁止の措置が取られるなどヨーロッパ中のセンセーションとなりました。全 1 幕の舞台に豊麗で甘美な旋律と大胆な不協和音が凝縮され、緊張感に満ちた濃密なドラマには息をつく暇もないほど。クライマックスの「7 つのヴェールの踊り」は、サロメが身にまとったヴェールを1枚1枚剥ぎ取りながら妖艶な踊りを披露する、官能美と緊迫感に満ちた見せ場です。

新国立劇場の『サロメ』は故アウグスト・エファージング演出、ミュンヘンのバイエルン州立歌劇場で上演されてきた名舞台で、舞台中央に巨大な古井戸を据えた、迫力と妖しさ漂う秀作です。

抜きんでた表現力のペンダ、トマソン、ストーレイら世界の実力派が勢揃い

注目のサロメには、バロックからヴェルディ、ヴェリズモ・オペラで活躍、抜きんでた表現力で世界中の観客を圧倒しているアレックス・ペンダ。ヨハナーンはドイツ・オペラで活躍するトマス・トマソン、サロメの義父ヘロデはヘルデン・テノールのベテラン、イアン・ストーレイ。ヘロディアスは新国立劇場『イエヌーフア』コステルニチカで大評判となったジェニファー・ラーモアと、世界の実力派が揃う、期待の顔ぶれです。指揮はリヒャルト・シュトラウスを特に得意とするコンスタンティン・トリックスが当たります。

<「サロメ」あらすじ>

紀元30年頃。不気味な月が昇る晩に、領主ヘロデの宮殿で宴が催されている。ヘロデの義理の娘サロメは、ヘロデのいやらしい視線と宴の退屈さに嫌気がさし、外に出てくる。サロメに恋焦がれる衛兵隊長ナラポートは、今晚は彼女が一段と輝いて見えると称えるが、小姓は不吉な予感を告げる。すると庭の古井戸から「救世主が現れる日がついに来た」と語る声が。それは預言者ヨハナーンの声だった。彼は、サロメの母ヘロディアスを糾弾したために古井戸に幽閉されているが、ヘロデからも恐れられている。興味を持ったサロメは、ヨハナーンを連れてくるようナラポートに命じる。古井戸から出てきたヨハナーンは、穢れたヘロディアスの罪を激しく非難するが、サロメはすっかり魅せられてしまう。サロメはヨハナーンにキスを求めるが、彼は拒否。その光景に耐えられずナラポートが自殺してしまうほど、サロメは何度も迫るものの、ヨハナーンは「呪われよ」との言葉を吐いて、古井戸に戻る。

ヘロデはサロメを宴の席に呼び戻し、酒を一緒に飲もう、横に座れ、と誘うが、サロメは断る。ヨハナーンは「ついにその日が来た」と救世主の到来を告げ、ユダヤ人たちは神や預言者についての論争を繰り広げる。ヘロデはおもむろにサロメに踊りを求める。嫌がるサロメだが「望みのものを何なりと褒美にやる」と言われ、妖艶な踊りを披露する。踊り終えてサロメが要求したものは、ヨハナーンの首であった。恐れおののくヘロデがどんなに諭してもサロメが要求を変えないため、ヘロデはその望みを受け入れる。銀の盆に載って運ばれるヨハナーンの首。受け取ったサロメは、ヨハナーンに口づけして恍惚とする。あまりのおぞましさに、ヘロデは兵士たちにサロメ殺害を命じるのだった。



<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】コンスタンティン・トリックス

Constantin TRINKS

ドイツ・カールスルーエ出身。同市の音楽大学で学ぶ。歌劇場や音楽祭でトレーナーや指揮者を務めながら幅広いレパートリーを身につける。バーデン州立劇場カールスルーエで音楽スタッフ、カペルマイスターを務めた後、2002 年にはザールラント州立劇場のカペルマイスターに就任、06-09 年には音楽監督代理を務めた。09 年より 12 年までダルムシュタット歌劇場音楽監督を務め、『ニーベルングの指環』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』『パルジファル』『アイダ』等多くの話作を指揮。ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、パリ・オペラ座などの歌劇場で活躍する傍ら、コンサート指揮者としても様々なオーケストラを指揮している。近年のオペラでは、ザクセン州立歌劇場『さまよえるオランダ人』、チューリヒ歌劇場『ねじの回転』、ストラスブール・ラン歌劇場『サロメ』、パリ・オペラ座『魔笛』、バイエルン州立歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』『アラベッラ』などを指揮。18/19 シーズンはローマ歌劇場『メリー・ウィドウ』、バイエルン州立歌劇場『アラベッラ』、『後宮からの逃走』、ブラハ国立歌劇場『ローエングリン』などを指揮した。特にワーグナー指揮者として評価されており、ザクセン州立歌劇場『さまよえるオランダ人』、スト

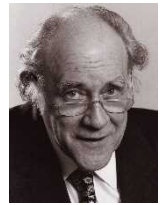


ラスブール・ラン歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、フランクフルト歌劇場で『タンホイザー』、バイロイト音楽祭『恋愛禁制』などを指揮している。新国立劇場では08年『ドン・ジョヴァンニ』、12年『ラ・ボエーム』、13年『タンホイザー』、17年『フィガロの結婚』を指揮している。

【演出】アウグスト・エファージング

August EVERDING

1928年ドイツのヴェストファーレン州ポットロップに生まれる。ボン大学およびミュンヘン大学で哲学、ドイツ文学、演劇学を修める。ミュンヘン・カンマーシュピーレで演出助手として研鑽を積み、その後各地で演出家として活躍。63年に同劇場のインテンダント、73年にハンブルク州立歌劇場、77年にバイエルン州立歌劇場の総監督となり、82年にはバイエルン州の全州立劇場の総監督に就任、93年にバイエルン州テアターアカデミー総監督兼理事長となる。99年ミュンヘンにて逝去。生前は、ドイツ劇場連盟をはじめとする芸術文化関係団体の要職を歴任するかたわら、演出家としても積極的に活躍した。



【サロメ】アレックス・ペンダ

Alex PENDA

ブルガリア・ソフィア生まれ。ビルバオで『ルチア』でデビューし国際的に躍り出た。ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルギー王立モネ劇場、ポリショイ劇場など世界一流の歌劇場に出演し、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、『ドン・カルロ』エボリ公女、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラとドンナ・アンナ、『サロメ』タイトルロール、『仮面舞踏会』アメリア、『マクベス』マクベス夫人、『フィデリオ』レオノーレなど、バロック、古典からベルカント、ヴェルディ、ワーグナーやシュトラウスまでレパートリーとする。近年の主な出演に、サンタフェ・オペラ、ボローニャ国立歌劇場、モスクワで『サロメ』、ウィーン国立歌劇場『道化師』ネッダ、エクサンプロヴァンス音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、ウィーン国立歌劇場、モネ劇場、ケルン歌劇場『エレクトラ』タイトルロール、サンタフェ・オペラ『フィデリオ』レオノーレ、『サロメ』、アヴィニオン歌劇場『マクベス』マクベス夫人、ソフィア歌劇場『トスカ』タイトルロール、モネ劇場『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントウツァなどがある。東京交響楽団『パルジファル』クンドリーで来日している。18/19 シーズンにはザンクトガレン歌劇場『ドン・カルロ』エリザベッタ、リモージュ歌劇場、ランス歌劇場で『マクベス』マクベス夫人などに出演。今シーズンはライン・ドイツ・オペラで『トスカ』タイトルロール、マシー歌劇場『マクベス』マクベス夫人などに出演している。新国立劇場初登場。



【ヘロデ】イアン・ストーレイ

Ian STOREY

イギリス生まれ。グラフィックデザインを学んだ後、音楽を学ぶ。1991年に『ルクレツィアの凌辱』『ラ・ボエーム』『アイダ』でデビュー。スコティッシュ・オペラ『マクロプロス事件』『トスカ』『イル・トロヴァトーレ』『カーチャ・カバノヴァ』、ウェルシュ・ナショナル・オペラ『トスカ』『カルメン』『トゥーランドット』などに出演。イタリアにはトッレ・デル・ラーゴ・プッチーニ音楽祭『トゥーランドット』カラフでデビューし、サンカルロ歌劇場『マクロプロス事件』『イエヌーファ』、ボローニャ歌劇場『スペードの女王』、パレルモ・マッシモ劇場『ルル』、フェニーチェ歌劇場『ナクソス島のアリアドネ』、ヴェローナ歌劇場『トゥーランドット』などに出演。英国ロイヤルオペラには『トゥーランドット』カラフでデビュー。『トリスタンとイゾルデ』はミラノ・スカラ座、チューリヒ、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、グライントボーン音楽祭、フェニーチェ歌劇場など特に数多く出演している。最近ではベルリン州立歌劇場『神々の黄昏』、サンフランシスコ・オペラ『さまよえるオランダ人』、ボローニャ歌劇場『ピーター・グライムズ』『サロメ』、フランダース・オペラ、ライン・ドイツ・オペラ『オテロ』、サンカルロ歌劇場『ムツェンスク郡のマクベス夫人』、ライプツィヒ歌劇場『神々の黄昏』に出演している。新国立劇場初登場。



【ヘロディアス】ジェニファー・ラーモア

Jennifer LARMORE

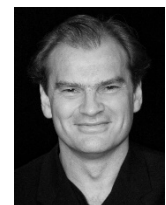
アメリカ出身。1986年にニース歌劇場で『皇帝ティートの慈悲』でデビュー。以来、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、ジュネーヴ大劇場、ハンブルク州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、英国ロイヤルオペラなど世界各地で活躍。最近の出演には、英国ロイヤルオペラ、マドリード王立劇場、パリ・オペラ座、ネザーランド・オペラ『ルル』ゲシュヴィッツ伯爵令嬢、ベルリン・ドイツ・オペラ『イエヌーファ』コステルニチカ、ジュネーヴ大劇場及びボローニャ歌劇場『マクベス』マクベス夫人、ジュネーヴ大劇場『メデア』タイトルロール、ハンブルク州立歌劇場『美しきエレヌ』タイトルロール、ジュネーヴ大劇場『ヴォツェック』マリー、アン・デア・ウィーン劇場『ポッペアの戴冠』オッターヴィア、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラなどがある。新国立劇場では15/16シーズン『イエヌーファ』コステルニチカに出演し、絶賛された。



【ヨハナーン】トマス・トマソン

Tómas TOMASSON

レイキャビク音楽学校で学び、アイスランド・オペラでモーツァルト、ヴェルディの役出演。英国王立音楽院卒業直後に国際的活動を始め、英国ロイヤルオペラ、ミラノ・スカラ座、トリノ王立歌劇場、マドリード王立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ジュネーヴ大劇場、ベルギー王立モネ劇場、ローザンヌ歌劇場、サンカルロ歌劇場、バイエルン州立歌劇場、モンテカルロ歌劇場、ロサンゼルス・オペラなど世界の著名歌劇場に出演している。近年では、オビエド歌劇場『ラインの黄金』『ワルキューレ』ヴォータン、シカゴ・リリック・オペラ、ベルリン州立歌劇場『パルジファル』クリングゾル、ザクセン州立歌劇場、ロサンゼルス・オペラ『サロメ』ヨハナーン、モネ劇場、ウィーン国立歌劇場、ローマ歌劇場『スペードの女王』トムスキー伯爵、ハンガリー国立歌劇場のライマン『リア王』タイトルロール、コーミッシェ・オーパー『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・ザックス、バーリ・ペトルツツェリ歌劇場、モネ劇場、トリノ王立歌劇場『さまよえるオランダ人』、ジュネーヴ大劇場『ラインの黄金』『ワルキューレ』ヴォータン、『ジークフリ



ート』さすらい人、パレルモ・マッシモ劇場『パルジファル』アムフォルタス、サン・カルロ歌劇場『スペードの女王』トムスキー伯爵などに出演。新国立劇場初登場。

【ナラポート】鈴木 准

SUZUKI Jun

東京藝術大学大学院にて音楽博士号取得。松田トシ賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。2010 年度に同大学の特別研究員として渡英。これまでに『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『魔笛』タミーノ、一柳慧『愛の白夜』ヨーニスなどに出演したほか、ブリテン『カーリユー・リヴァー』狂女役をロンドン、オーフォードで演じ、好評を得た。14 年 3 月にはびわ湖ホール『死の都』にパウル役で出演、絶賛される。新国立劇場では『沈黙』モキチ、『タンホイザー』ハインリヒ、『鹿鳴館』久雄、『パルジファル』小姓 3、『魔笛』タミーノ、『夕鶴』与ひょう、『フィデリオ』ジャキーンなどに出演している。二期会会員。



【ヘロディアスの小姓】加納悦子

KANOH Etsuko

東京藝術大学、同大学大学院を修了後、ケルン音楽大学で声楽を学ぶ。ケルン歌劇場専属歌手として『フィガロの結婚』ケルビーノ、『蝶々夫人』スズキなど40以上の演目出演。国内ではNHK交響楽団などとの共演や、二期会、びわ湖ホールオペラなどで活躍。最近では2013年9月びわ湖ホール・神奈川県民ホール共催『ワルキューレ』フリッカを演じた。新国立劇場では『ホフマン物語』ニクラウス／ミューズ、『魔笛』侍女Ⅱ、『ばらの騎士』アンニーナ、『ルサルカ』料理人の少年、『ピーター・グライムズ』セドリー夫人、『サロメ』ヘロディアスの小姓、『セビリアの理髪師』ベルタ、『神々の黄昏』ヴェルグンデなどに出演している。2013年10月文化庁芸術祭オープニング公演でエルガー『海の絵』を独唱して、高い評価を得ている。ソロCD「メアリ・スチュアート女王の詩」(ALM RECORDS)は13年度レコードアカデミー賞声楽部門受賞。「ドイツ・バロック歌曲」演奏会などの成果に対し令和元年度(第70回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19/20シーズンは『セビリアの理髪師』ベルタに出演したほか、『ジュリオ・チェーザレ』コルネーリアにも出演予定。二期会会員。



新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ
リヒャルト・シュトラウス

サロメ

Richard STRAUSS / Salome
全1幕(ドイツ語上演/日本語及び英語字幕付)

【公演日程】2020年5月17日(日)14:00/20日(水)19:00/23日(土)14:00/26日(火)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:22,000円・A:16,500円・B:11,000円・C:6,600円・D:3,300円・Z:1,650円

【前売開始】2020年1月25日(土)

指揮	コンスタンティン・トリックス	サロメ	アレックス・ペンダ
Conductor	Constantin TRINKS	Salome	Alex PENDA
演出	アウグスト・エファード・ディング	ヘロデ	イアン・ストーレイ
Production	August EVERDING	Herodes	Ian STOREY
美術・衣裳	ヨルク・ツィンマーマン	ヘロディアス	ジェニファー・ラーモア
Set and Costume Design	Jörg ZIMMERMANN	Herodias	Jennifer LARMORE
振付	石井清子	ヨハナーン	トマス・トマソン
Choreographer	ISHII Kiyoko	Johanaan	Tómas TÓMASSON
再演演出	三浦安浩	ナラボート	鈴木 准
Rivival Director	MIURA Yasuhiro	Naraboth	SUZUKI Jun
舞台監督	菅原多敢弘	ヘロディアスの小姓	加納悦子
Stage Manager	SUGAHARA Takahiro	Ein Page der Herodias	KANOH Etsuko
		5人のユダヤ人 1	与儀 巧
		5 Juden 1	YOGI Takumi
		5人のユダヤ人 2	青地英幸
		5 Juden 2	AOCHI Hideyuki
		5人のユダヤ人 3	加茂下 稔
		5 Juden 3	KAMOSHITA Minoru
		5人のユダヤ人 4	糸賀修平
		5 Juden 4	ITOGA Shuhei
		5人のユダヤ人 5	畠山 茂
		5 Juden 5	HATAKEYAMA Shigeru
		2人のナザレ人 1	北川辰彦
		2 Nazarener 1	KITAGAWA Tatsuhiko
		2人のナザレ人 2	秋谷直之
		2 Nazarener 2	AKITANI Naoyuki
		2人の兵士 1	金子 慧一
		2 Soldaten 1	KANEKO Keiichi
		2人の兵士 2	金子 宏
		2 Soldaten 2	KANEKO Hiroshi
		カッパドキア人	友清 崇
		Ein Cappadocier	TOMOKIYO Takashi
		奴隷	花房英里子
		Ein Sklave	HANAFUSA Eriko

管弦楽

東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督

大野和士

Artistic Director ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/salome/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* Z席 1,620円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結。

本公演は、レパトリー演目です。宣材として過去の上演の舞台写真をご使用いただけます。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】